

別添様式1

海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度申請書

令和 年 月 日

国土交通省

海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度担当 宛

企業等名

代表者氏名

海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度に基づき、別添の職員について、知識及び技術又は技能を有する者として、認定を受けたいので申請します。

(以下、認定に加えて、表彰に応募する場合のみ ※提出時にはこの行を削除)

併せて、別添の職員について、海外インフラプロジェクト技術者表彰制度による表彰を希望しますので、応募します。

(記入例)
別添様式1

記入例

海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度申請書

令和 2年10月 1日

国土交通省
海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度担当 宛

企業等名 (株) 国交建設

代表者氏名 国交 太郎

海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度に基づき、別添の職員について、知識及び技術又は技能を有する者として、認定を受けたいので申請します。

(以下、認定に加えて、表彰に応募する場合のみ)

併せて、別添の職員について、海外インフラプロジェクト技術者表彰制度による表彰を希望しますので、応募します。

認定申請・表彰応募者一覧

企業等名			
住所			
担当者所属			
担当者氏名 (複数可)	e-mail		
	電話番号		

氏名	生年月日	所属・職名	表彰応募者 (1名のみ「○」印 を記入ください)	(若手・女性技術者) 表彰応募者 (1名のみ「○」印 を記入ください)	コリンズ・テクリス 等への登録を希望 (該当する場合 「○」をつけてくださ い)
(記入例) 国交 太郎	昭和50年1月1日	〇〇本部〇〇部〇〇課長	○		○
(記入例) 国際 花子	昭和64年1月1日	Kokkou Kensetsu International社〇〇国〇〇道路建設事務所に出向中		○	○

(確認願を同時提出する場合) <任意>

「確認願」同時提出工事・業務名称	添付「確認願」ファイル名
(記入例) 〇〇国〇〇高速道路(第Ⅱ期)工事(〇〇工区)	国交建設_確認願01.pdf

※1名ごとに、別添様式3(実務経験証明書)及び別添様式4(参考資料一覧)を作成し、所要の参考資料とともに提出してください。
 ※表彰の応募を希望される技術者(1名に限る。)については、「表彰応募の有無」に「○」印を記入した上で、別添様式5(表彰応募様式)及び別添様式6
 (参考資料一覧)を作成し、所要の参考資料とともに提出してください。
 ※コリンズ・テクリス等の登録に活用する場合において、現場代理人(工事の場合)又は管理技術者(業務の場合)相当の認定を希望する場合は、それぞ
 れの欄に「○」印を記入した上で、別添様式3の各実務経験の「職名」欄に「現場代理人相当」等の旨を記載してください。
 ※コリンズ・テクリス等の登録に必要な「確認願」(要領「4.」参照)を同時提出する場合は、当該工事の名称を「確認願」のファイル名とともに記入して
 ください。なお、海外の関連法人等による工事又は業務については、確認願は当該関連法人名で作成してください。

実 務 経 験 証 明 書

下記の者は、_____に関し、下記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

証 明 者 _____ 印

被証明者との関係 _____

記

技術者の氏名	生年月日		使用された期間	年 月から 年 月まで
使用者の商号 又は 名 称				
職 名	実 務 経 験 の 内 容		実 務 経 験 年 数	
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
			年 月から	年 月まで
使用者の証明を得ることができない場合はその理由			合計	満 _____ 年 _____ 月

記載要領

- 1 この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成すること。
- 2 「職名」の欄は、被証明者が所属していた部課名等を記載すること。
- 3 「実務経験の内容」の欄は、従事した主な工事名等を具体的に記載すること。
- 4 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。

実務経験証明書

記入例

下記の者は、_____に関し、下記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

証明者は、原則、当時所属していた会社の現在の(現)代表取締役

本申請・応募に際しては押印は不要

証明者 国土 次郎 印

証明者の立場からみた被証明者との関係を記入する

被証明者との関係

元社員

記

技術者の氏名	国交 太郎	生年月日	昭和50年1月1日	使用された期間	2005年4月から 2018年7月まで
使用者の商号又は名称	Kokkou Kensetsu International				
職名	実務経験の内容			実務経験年数	
プロジェクト・マネジャー(現場代理人相当)	〇〇国〇〇高速道路(第Ⅱ期)工事(〇〇工区)			2015年3月から 2018年5月まで	
サブマネジャー(〇〇担当)	〇〇国〇〇交差点立体化プロジェクト(〇〇工事の総括責任者)			2009年2月から 2014年10月まで	
(その他)主要な担当技術者(〇〇担当)	〇〇国〇〇道路拡張工事(〇〇工事の担当技術者)			2005年4月から 2008年10月まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
				年 月 日から 年 月 まで	
使用者の証明を得ることができない場合はその理由				合計	満 12 年 4 月

工事又は業務ごとに、実務経験を証明できる資料として

①契約書(工事の名称、概要その他認定を希望する内容がわかる部分のみで良い)の写し及び組織図・施工体制図等の当該技術者の職務がわかる資料

又は

②発注者による証明書

を参考資料として添付すること

コリンズ・テクリス等への登録を希望する場合で、国内工事の現場代理人(工事の場合)又は管理技術者(業務の場合)等に相当する実績については、その旨について、「職名」欄に記載すること

「職名」が特段ない担当技術者の場合も、できるだけ、実務的に担当した内容を記入すること

経験年数の始めの月は計算しない

経歴に重複がある場合単純に合計しないよう注意

記載要領

- この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成すること。
- 「職名」の欄は、被証明者が所属していた部課名等を記載すること。
- 「実務経験の内容」の欄は、従事した主な工事名等を具体的に記載すること。
- 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。

認定申請に関する参考資料一覧
(「別添様式3」の裏付けとなる参考資料)

企業等名	
申請技術者氏名	

番号	参考資料名	ファイル名
記入例①	〇〇国〇〇高速道路(第Ⅱ期)工事契約書(部分)及び和訳	国交建設_国交太郎_参考001.pdf
記入例②	〇〇国〇〇高速道路(第Ⅱ期)工事体制図及び和訳	国交建設_国交太郎_参考002.pdf
001		
002		
003		
004		
005		
006		
007		
008		
009		
010		

※1名ごとに、参考資料として添付しているファイルの内容(概要)及びファイル名を記入してください。

※参考資料としては、できるだけ、一連の資料を一つのファイルにまとめていただけますようお願いいたします。

※日本語・英語以外の資料については原則として日本語訳を添付(必要箇所のみ)してください。日本語訳にあたっては、翻訳証明書を添付又は公証をしてください。

※参考資料のファイル名は、「企業等名_申請技術者名_参考XXX.pdf」としてください。(「XXX」の部分は参考資料番号を記入)

※参考資料のファイル形式はPDFとしてください。

表彰応募様式

企業等名	
応募技術者氏名	
「若手・女性技術者」として応募する方は右欄に「○」を記入	

表彰に応募する技術者については、一つ目の参考資料として履歴書を添付のこと

番号	記載内容	備考
1.	応募を行う企業等として、応募技術者を表彰すべき者として応募する理由	
		【概ね400文字以内】 応募を行う企業等の責任者としての現段階の考えを記載
2.	応募技術者が従事した代表的な海外工事又は業務の概要及び応募技術者の役割等 (1件目) ※2015～2019年度に完了したものに限り	
[1]	工事又は業務の名称(日本語)	
[2]	工事又は業務の名称(英語)	・英語以外の名称のみの場合当該言語による名称を記載
[3]	施工国名	
[4]	発注者	
[5]	当初工期	
[6]	最終工期	・未精算等により未確定の場合記入不要 ・実質的に完工している場合はその旨記載
[7]	当初契約額(円換算)	・申請月当初時点の為替レートを使用(有効数字3桁程度で良い)
[8]	当初契約額(契約通貨)	・契約書に記載されている通貨により記載
[9]	最終契約額(円換算)	・申請月当初時点の為替レートを使用(有効数字3桁程度で良い) ・未精算の場合記入不要
[10]	最終契約額(契約通貨)	・契約書に記載されている通貨により記載 ・未精算の場合記入不要

<p>[11] 工事又は業務の主な内容</p>		<p>【概ね200文字以内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別添様式3の「実務経験の内容」よりも詳細に記載。(工事の規模がわかる簡潔な数量も記載) ・工事又は業務の状況や竣工時の写真等があれば参考資料として添付のこと。
<p>[12] 上記のうち応募技術者の担当した主な内容</p>		<p>【概ね200文字以内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札・契約図書等で応募技術者の業務内容に関する記載があれば、該当箇所に赤線を引いてそのコピーを参考資料として提出すること。
<p>[13] 従事期間</p>		<p>応募技術者が当該工事又は業務に従事した期間を記載。</p>
<p>[14] 応募技術者が当該工事又は業務のマネジメントに果たした役割・成果</p>		<p>【概ね200文字以内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載内容の事実関係等を説明する発注者からの感謝状や現地での報道状況、図面・写真等があれば参考資料として添付し、参考資料名及び資料番号を記載すること。
<p>[15] 応募技術者が当該工事又は業務で直面した技術的な課題と対応</p>		<p>【概ね200文字以内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該工事又は業務で直面した技術的課題のうち、特に応募技術者の業務内容に関係が深いものを記載すること。 ・上述の記載内容の事実関係等を説明する図面・写真等があれば参考資料として添付し、参考資料名及び資料番号を記載すること。
<p>[16] 応募技術者が当該工事又は業務において行った関係機関との協議・調整での困難性、工夫して対処、解決した点</p>		<p>【概ね200文字以内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に相手国政府や政府機関、企業、住民、国際機関などとの協議・調整に関するものを記載すること。 ・上述の記載内容の事実関係等を説明する資料・図面・写真等があれば参考資料として添付し、参考資料名及び資料番号を記載すること。

※評価の過程において、事実関係については添付された参考資料に基づき判断することを基本とするが、詳細な事実関係について確認するため、応募した企業等に追加資料の提出や説明、オンラインも含めた面接などを求める場合がある。

表彰応募に関する参考資料一覧
(「別添様式5」の裏付けとなる参考資料)

企業等名	
応募技術者氏名	

番号	参考資料名	ファイル名
記入例①	国交太郎履歴書	国交建設_国交太郎_参考101.pdf
記入例②	〇〇高速道路〇〇インターチェンジの工区工事概要	国交建設_国交太郎_参考102.pdf
101		
102		
103		
104		
105		
106		
107		
108		
109		
110		

※1名ごとに、参考資料として添付しているファイルの内容(概要)及びファイル名を記入してください。

※参考資料としては、できるだけ、一連の資料を一つのファイルにまとめていただけますようお願いいたします。

※日本語・英語以外の資料については原則として日本語訳を添付(必要箇所のみ)してください。日本語訳にあたっては、翻訳証明書を添付又は公証をしてください。

※参考資料のファイル名は、「企業等名_応募技術者名_参考XXX.pdf」としてください。(「XXX」の部分は参考資料番号を記入)

※参考資料のファイル形式はPDFとしてください。